

相次ぐ米軍機事故に対する抗議決議

去る1月20日午後7時30分頃、普天間基地所属の米海兵隊AH-1Z攻撃ヘリコプターがうるま市伊計島の農道に不時着する事故が発生した。先月には、MV-22オスプレイが名護市安部沿岸へ墜落し、その原因究明もなされぬまま飛行が再開されている。

さらに、CH-53ヘリの前脚障害や、市内上空での米軍機による異音も確認されており、相次ぐ事故や機体の不具合、住宅地上空での飛行訓練など、米軍機の運用全体に対する市民の不安や恐怖は頂点に達している。

これまでも事件、事故が起こるたびに関係機関に対し、再三再四にわたり抗議を行っているにもかかわらず、改善されるどころか、このような事故が何度も繰り返される事態に激しい憤りを禁じ得ず、極めて遺憾である。

よって本市議会は、市民・県民の尊い生命及び財産並びに安全・安心な生活を守る立場から、今回の不時着に対し、嚴重に抗議するとともに下記の事項が速やかに実現されるよう強く要求する。

記

1. 事故原因を究明し、徹底した再発防止策を講じるとともに、その結果を速やかに公表すること。
2. 住宅地上空や午後10時から午前6時までの間の飛行訓練を禁止すること。
3. 普天間基地の一日も早い閉鎖・返還を実現すること。
4. 日米地位協定を抜本的に改定すること。

以上、決議する。

平成29年2月6日

沖縄県宜野湾市議会

あて先：駐日米国大使、第三海兵遠征軍司令官・沖縄地域調整官
普天間基地司令官、在沖米国総領事